

単元の指導計画

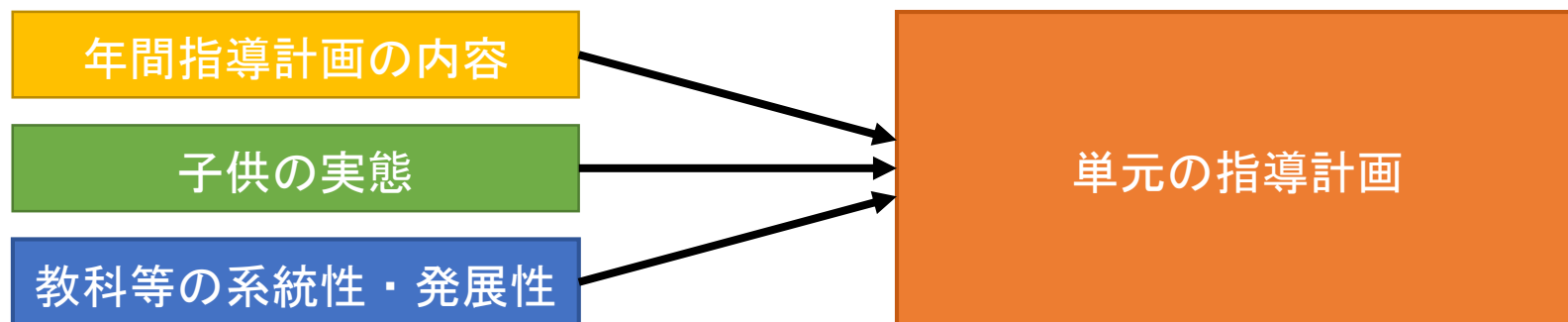
1 単元の指導計画とは①

- 「単元」とは

教科等において、一定の目標や主題を中心として組織された学習内容のまとまりのこと。

- 「単元の指導計画」とは

単元の実際の指導に向けて、年間指導計画に盛り込まれた内容を、より具体化したもの。



1 単元の指導計画とは②

目指す子供像＝単元の目標



- ・内容をどのような順序で指導していくか。
- ・どの程度、時間を掛けて指導していくか。
- ・どのような方法で指導するか。
- ・どこで、何を評価するのか。

ねらいが明確な授業の実施＝明確な授業準備
(≡業務改善)

2 単元の指導計画の作成手順（例）

子供に付けたい力を考える

- ・ 子供の学習状況（当該教科の学んでいる段階）を把握する。

単元を設定する

- ・ 「単元で身に付けたい力」とねらいに迫るための中心となる学習活動を考える。

単元の目標を設定する

- ・ 集団や個々の実態を踏まえ、学習指導要領の目標を基に、育成を目指す資質・能力を三つの柱で設定する。

単元の指導計画を考える

- ・ 単元の目標に迫るための学習内容と流れや時数を考える。

本時案を考える

- ・ 単元の目標から1単位時間の学習活動や目標を考える

3 子供の学習状況を把握するために

【学びの履歴】小学部 教科一覧

小学部 4 学年

氏名 ○○ ○○

記入日 年 月 日

	1 段階	習得状況	2 段階	習得状況	3 段階	習得状況	備考欄
生活	基本的生活習慣	◎	基本的生活習慣	◎	基本的生活習慣		2 段階の内容を中心に組み立てられている児童の例です。 (太枠等で囲む必要はありませんが、学んでいる段階が分かるように表記を工夫してください。) 学習した内容には「○」を記入し、まだ取り扱っていない場合は、「空欄」にします。 学習した内容をおおむね習得している場合は、「◎」を記入します。
	安全	◎	安全	○	安全		
	日課・予定	◎	日課・予定	○	日課		
	遊び	◎	遊び	◎	遊び		
	人との関わり	◎	人との関わり	○	人と		
	役割	◎	役割	○	役割		
	手伝い・仕事	◎	手伝い・仕事	○	手伝		
	金銭の扱い	◎	金銭の扱い	○	金銭		
	さまり	◎	さまり	○	さ		
	社会の仕組みと公共施設	◎	社会の仕組みと公共施設	○			
生命・自然	◎	生命・自然		生命			
ものの仕組みと働き	◎	ものの仕組みと働き		もの			
知識及び技能	知識		知識		知識		話や文章の中に含まれている情報の扱い方 我が国の言語文化
	技能		技能		技能		
思考力・判断力・表現力等	聞くこと・話すこと	◎	思考力	○	思考力		聞くこと・話すこと 書くこと 読むこと
	書くこと	○	判断力		判断力		
	表現力		表現力		表現力		
	読むこと	◎	等	○	等		

1 段階の内容を学習しおおむね習得したら、2 段階の内容を取り扱います。1 段階で習得されていない内容が一部あるときには、内容を習得できるように、補充的な学習を取り入れて指導を行います。

2 段階の内容を中心に組み立てられている児童の例です。(太枠等で囲む必要はありませんが、学んでいる段階が分かるように表記を工夫してください。)

学習した内容には「○」を記入し、まだ取り扱っていない場合は、「空欄」にします。

学習した内容をおおむね習得している場合は、「◎」を記入します。

教科

学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P89～95参照

小学部【国語】1 段階

目標

思考力・判断力・表現力等
イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。

学びに向かう力・人間性等
ウ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

内容

1 学年 2 学年 3 学年 4 学年 5 学年 6 学年

に慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じ
に慣れたり、言葉が表す事物やイメージを
「学びの履歴」シートを使い始めた学年から記入します。

読み聞かせを聞くなどして親しむこと。
のもつ楽しさに触れること。
の事項を理解し使うこと。
に触れ、書くことを知ること。
、正しい姿勢で書くことを知ること。
、いろいろな絵本などに興味をもつこと。

いせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単
したりすること。
掛けに注目したり、応じて答えたりすること。
きかべ、身振りや音声などで表すこと。

学習した内容には「○」を記入し、学習した内容をおおむね習得している場合は、「◎」を記入します。

「○」については、継続学習が必要な場合を含みます。

こちらからダウンロードできます

「学びの履歴シート」福島県特別支援教育センター（令和2年）

4 実態差に応じた個人目標の設定

□学びの履歴の把握

	1段階			2段階			3段階		
	知・義	思・判表	学び	知・義	思・判表	学び	知・義	思・判表	学び
Aさん	●	●	●	●	●	●	△	△	△
Bさん	△	△	●						
Cさん	●	△	△						
Dさん	●	●	●	●	●	●	△	△	●

ポイント1

一人一人の学びの履歴の把握

各段階の達成状況を把握することにより、単元を通して指導する内容を明確にすることができます。



ポイント2

実態に応じた目標と評価規準の設定

□評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・セロファンを組み合わせや綿やボタンなどの素材を活用して表現している。	・家の形や配色を考えたり、友達作品を見て表現を工夫している。	・形や色を工夫しながら夢の家を作る楽しさを味わっている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・窓や屋根の形に気付き、三角や四角の画用紙を組み合わせて家表現している。	・線を描いたりスタンプで着色する中で、雲や花など、イメージを表現している。	・様々な素材を組み合わせることで形が出来上がることを楽しんでいる。

一人一人の実態に応じて、個別または小集団ごとに目標や評価規準を設定します。

具体的に評価規準を設定したので、児童が授業を通じて身に付けたのかを明確に評価できるようになりました！



5 単元全体を通じた資質・能力の育成

① 単元（題材）を見通して、身に付けさせたい力を明確にし、評価規準を設定する。

- ◆ 単元（題材）のまとまりを見通して単元構成をする。
- ◆ 身に付けさせたい力を明確にし、評価規準を設定する。

② 評価規準に応じた学習活動を、単元全体を通してバランスよく位置付ける。

- ◆ 授業のつながりを考え、観点ごとの評価規準と、それを達成するための学習活動をバランスよく位置付け、学びの過程を構築する。

③ 児童生徒の学習状況を評価規準に基づいて見取る。

- ◆ 単元全体の評価規準を明確にし、児童生徒の学習状況を見取りながら授業を行い、自らの指導を振り返る。

単元づくりの手順

1 身に付けさせたい力の明確化

【単元の評価規準の設定】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○○○…	○○○…	○○○…

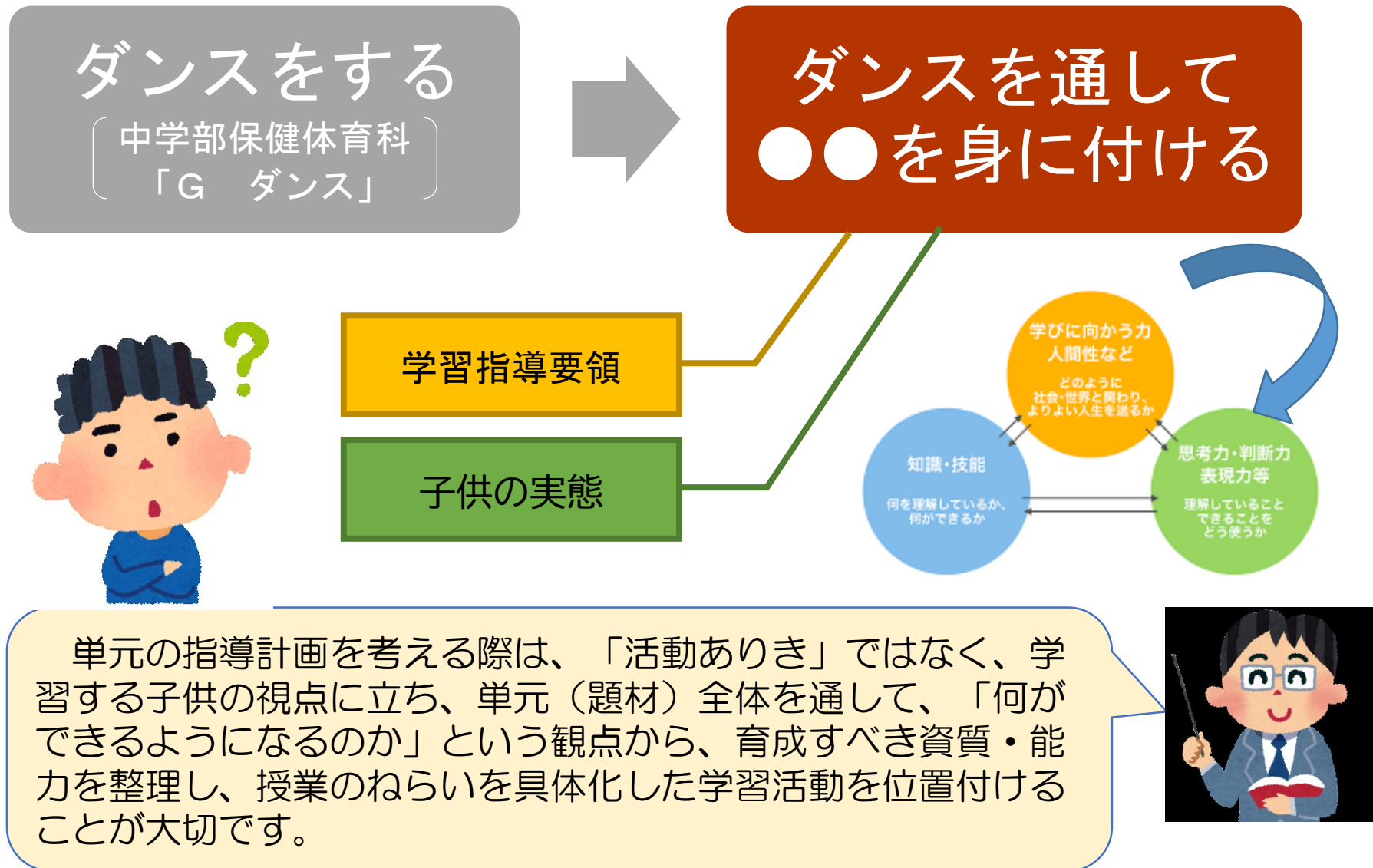
2 身に付けさせたい力を育む学習活動のバランスのよい位置付け

【単元の指導計画】

	主な学習活動	評価規準			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…
2	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…
8	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…

3 単元全体を通して、観点ごとの学習状況の見取りと、指導の改善

6 育成を目指す資質・能力の明確化



中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の目標、評価規準の作成例

単元の目標		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ダンスの行い方が分かり、ステップや振り付けを身に付ける。	ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしたことを友達に伝える。	ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝える。



単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- ダンスの行い方が分かっている。 - ステップや振り付けを身に付けている。	- ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしている。 - 考えたり、工夫したりしたことを友達に伝えている。	ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝えようとしている。

 単元を終えた時に、生徒はどのような力を身に付けたか？

7 指導計画の作成と内容の取扱い

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童（生徒）の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくものであること。

児童生徒が学びを積み重ねていく【学びの過程】を構築することができるよう、単元（題材）全体を通して、学習活動のバランスを考えることが大切です。



8 単元や題材のまとまりを考える

時	主な学習活動	目 標	評価の観点		
			知	思	主
1	脚のステップや付けの練習		☐	☐	☐
2	踊る曲、ステップ付けの選択、決				
3	振り付けの練習		☐	☐	☐
4	振り付けの練習				
5	振り付けの確認		☐	☐	☐
6	コンテスト①		☐	☐	☐
7	振り付けの変更		☐	☐	☐
8	振り付けの練習		☐	☐	☐
9	振り付けの練習		☐	☐	☐
10	コンテスト②		☐	☐	☐

発表を見て、感想を言う。

演習

単元の指導計画を見ながら、
以下のことを検討しましょう！

- 子供の学習状況を把握し、単元を通じて育成を目指す資質・能力（単元の目標）が、各教科の内容に基づいて設定されているか。
- 資質・能力の育成に向け、目標を達成するため学習活動が、単元を通してバランスよく位置付けられているか。

